

平成28年7月29日

＜資料提供＞
里山振興室 小中
内線 4644
外線 (076)225-1648

平成28年度能登の里山里海^{びと}人「聞き書き」研修及び取材（第1回）の実施について

石川県、能登4市5町、関係団体で構成する世界農業遺産活用実行委員会では、平成24年度から「能登の里山里海」において、地域を支え、暮らしに根差した生業や祭礼、伝統技術の維持・継承や地域の景観、生物多様性の保全などに携わっている方、いわゆる「能登の里山里海人」から地元の高校生がその技や知恵、地域に対する思いを取材・記録する「聞き書き（※）」を実施しています。

この度、今年度の「能登の里山里海人」と参加高校が決定し、下記のとおり、参加高校生を対象にした「聞き書き」研修及び第1回取材を実施します。

記

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 1 日 時 | 平成28年8月1日(月) 14時 ~ 8月3日(水) 14時 |
| 2 場 所 | 国民宿舎「能登小牧台」(七尾市中島町井部55番地) |
| 3 参加高校生 | 別添1のとおり(9高校19名) |
| 4 研修日程 | 別添2のとおり |

(参考)

今後のスケジュール	H28年8月1日~3日	第1回研修、第1回取材
	H28年8月~9月	第2回取材
	H28年10月頃	第2回研修
	H29年2月	レポートの完成
	H29年3月	作品集の刊行、発表会の開催

(注※)「聞き書き」とは、話し手の言葉を録音し、一字一句すべてを書き起こしたのち、話し手の語り口でひとつの文章にまとめる手法。農林水産省・文部科学省・環境省主催の「聞き書き甲子園」などでも用いられている。

平成28年度能登の里山里海人の知恵の伝承事業
 (能登の里山里海人「聞き書き」)

別添1

能登の里山里海人	取材場所	取材内容	取材高校 (人数)
石井 昌嘉	七尾市	景観、生物保全活動	七尾高校 (2名)
堂前 助之新	輪島市	千枚田保全活動	門前高校 (2名)
前野 美弥次	珠洲市	漁業	飯田高校 (2名)
長瀬 清隆	羽咋市	米づくり	羽咋高校 (2名)
常光 信行	中能登町	養蜂業	鹿西高校 (2名)
裏 貴大	志賀町	米づくり、収穫祭	志賀高校 (2名)
出倉 裕一	宝達志水町	農家	宝達高校 (2名)
岩田 正樹	穴水町	ボラ待ち漁	穴水高校 (2名)
谷口 正成	能登町	生物生態調査	能登高校 (3名)
9名			9高校 9組 (19名)

研修スケジュール

8月1日（月）

13時半：集合

14時～17時：オリエンテーション

- ・世界農業遺産「能登の里山里海」について
- ・聞き書き（インタビュー）の手法について
- ・聞き書き参加生徒の体験談
- ・参加生徒の自己紹介

8月2日（火）

8時半：講義①（取材の準備）

- ・プロフィールをもとに組ごとにインタビュー項目を考える
- ・「聞き書き」のポイントや心構えについて
- ・録音機（ICレコーダー）の使い方と写真撮影について

14時～17時：取材（取材対象者の自宅等を訪問）

- ・1回目のインタビュー
- ・写真撮影
- ・次回の打ち合わせ（連絡先の交換）

19時半：実習①（書きおこし）

- ・「聞き書き」の体験を共有する
- ・インタビューの書きおこし

8月3日（水）

8時半：実習②（グループワーク）

- ・書きおこしの例をもとに文章構成のワークショップ
- ・タイトルや小見出しのつけ方、作品のまとめ方について

10時半：講義②（2回目の取材に対する心構え）

- ・「聞き書き」作品の良い事例と悪い事例を比較
- ・2回目の取材で聞くべきことの整理

12時半：講義③（写真撮影）

- ・写真撮影の仕方とポイントについて

13時半：今後のスケジュール説明とチーム内の役割分担について

- ・執筆者、校正者の役割について
- ・提出する成果物について（聞き書きレポートと要約版の体裁）

14時：集合写真撮影、解散